导　言 …… (1)

第一章　媒介文化概说 …… (6)
一　何谓媒介文化 …… (6)
1. 大众媒介 …… (6)
2. 媒介文化 …… (9)
二　文化变迁的基本维度 …… (20)
1. 从审美文化到消费文化 …… (20)
2. 从知识分子文化到知道分子文化 …… (41)
第二章　数码时代的写与读 …… (67)
一　电子书写与文章的变迁 …… (69)
1. 笔耕墨种:手稿的痕迹与光晕 …… (70)
2. 作家换笔:快感写作与线性思维的瓦解 …… (79)
3. 学人上网:信息崇拜与通胀写作 …… (100)
二　博客写作与展示价值 …… (119)
1. 本雅明的启示 …… (120)
2. 展示什么,如何展示 …… (125)
3. 展示价值与商业价值 …… (133)
三　新媒介的冲击与文学阅读的式微 …… (139)
1. 文学阅读:由盛而衰的种种征候 …… (140)
2. 新媒介:影响文学阅读的诸形式 …… (148)

3. 游离与守护:媒介文化之间的冲突 …… (163)
第三章　手机成为"第五媒体"之后 …… (177)
一　书信的终结与短信的蔓延 …… (179)
1. 书信与短信的存在状态 …… (180)
2. 时空距离与书信经验 …… (187)
3. 时空压缩与短信体验 …… (191)
4. 不能承受的短信之轻 …… (198)
二　个案分析:数字化时代的爱情 …… (207)
1. 李蓝之恋:始于电话终于情书 …… (208)
2. 电话与性:一种新型的同构关系 …… (210)
3. 情书之谜:身体的在场与缺席 …… (215)
三　在搞笑短信的背后 …… (221)
1. 搞笑短信的前文本 …… (222)
2. 搞笑短信与狂欢无关 …… (229)
3. 搞笑短信与媒介娱乐主义 …… (237)
第四章　反思"红色经典" …… (244)
一　谁在守护"红色经典" …… (245)
1.《通知》出台的现实语境 …… (245)
2. 商业观众、革命群众与政治无意识 …… (249)
3. 作为合作者的民间 …… (254)
二　个案分析:"红色经典剧"改编的困境 …… (257)
1. 样板戏《沙家浜》:政治审美化的产物 …… (257)
2. 电视剧《沙家浜》:在可改编与不可改编之间 …… (266)
三　当"红色经典"遭遇恶搞 …… (277)
1. 从娱乐到政治:媒介事件的来龙去脉 …… (277)
2.《闪闪的红星》:无法成为经典的若干理由 …… (284)
3. 祛魅与返魅:"红色经典"作为一笔交易 …… (290)
4. 恶搞:青年亚文化的游击战 …… (295)

第五章　质疑《百家讲坛》 …… (301)
一　《百家讲坛》的流播小史与变脸方术 …… (303)
1.《百家讲坛》"前世"考:学术电视为何难以为继 …… (304)
2.《百家讲坛》"今生"论:电视娱乐为何如日中天 …… (318)
二　学者上电视与知识分子的缺席 …… (336)
1.学者上电视的文化语境 …… (339)
2.学问型学者走向前台 …… (344)
3.萨特与媒体关系再思考 …… (348)
4.知识分子缺席电视的原因 …… (354)
结　语 …… (361)
参考书目 …… (365)
后　记 …… (380)